

# JRE STATION カレッジ

これからの駅は、  
知識と情熱を未来につなぐ。

**2022開講コースご案内資料**

# JRE Station カレッジとは

JRE Stationカレッジは、次の100年に向けて私たちが何をすべきなのかを考え、実践する場です。社会に山積する課題を解決するために、一人ひとりが知識を蓄え、情熱をもってその知識を活用していく。その結果として、持続可能なビジネス（＝サステナブルビジネス）を生み出し続けるエコシステムの構築を目指しています。

JRE Station カレッジは、東日本旅客鉄道株式会社と株式会社リバネスの共同開発で生まれました。

東日本旅客鉄道株式会社は、グループ経営ビジョン「変革2027」における「くらしづくり」の実現に向けて、「Beyond Stations構想」を推進します。ヒトの生活における「豊かさ」を起点として駅のあり方を変革し、「交通の拠点」という役割を超えて、駅を「つながる暮らしのプラットフォーム」へと転換を行います。社外パートナーと共創しながら、リアルな交流拠点の強みを活かして、駅を「新たなビジネスを創発する拠点」へと変えていきます。駅の持つ可能性をさらに広げ、新たな収益確保と価値創造を実現します。

Beyond Stations構想 [https://www.jreast.co.jp/press/2020/20210303\\_ho04.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2020/20210303_ho04.pdf)

株式会社リバネスは、2002年の創業以来、社会の本質的な課題を発掘し、科学・技術と異分野を橋渡しすることで、課題解決に資する新たな価値を生み出す人材「サイエンスブリッジコミュニケーター®（SBC）」の育成に注力しています。これからの時代に求められる概念理解や考え方、スキル等を身につける数々のカリキュラムを独自に開発し続け、組織内外で新たなコトを仕掛ける人材を輩出してきました。2021年5月には、産業界・アカデミアとも連携を図りながら、世界を変える意思を持つあらゆる人に開かれた学びの場「リバネスユニバーシティ」を開講しています。

リバネスユニバーシティ <https://univ.lne.st/>

# 2022年度開催概要・スケジュール

## エコテックコース

[テーマ] 水辺と環境・まちづくり

[実施場所] 東京駅キャンパス

(STATION DESK 東京 premium)

[実施時期] 隔週水曜日 全8回

前期：6月～9月 後期：11月～2月

[実施時間] 講義：18:00-19:00 / ゼミ：19:00-20:30

### 前期

第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回

6月8日 (水)	6月22日 (水)	7月8日 (金)	7月20日 (水)	8月10日 (水)	8月24日 (水)	9月7日 (水)	9月21日 (水)
-------------	--------------	-------------	--------------	--------------	--------------	-------------	--------------

18:00-19:00 講義

19:00-20:30 ゼミ

### 後期

第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回

11月2日 (水)	11月16日 (木)	12月7日 (水)	12月21日 (水)	1月11日 (水)	1月25日 (水)	2月8日 (水)	2月22日 (水)
--------------	---------------	--------------	---------------	--------------	--------------	-------------	--------------

18:00-19:00 講義

19:00-20:30 ゼミ

## フードテックコース

[テーマ] 新たな食の循環

[実施場所] 新大久保駅キャンパス

(K,D,C,...)

[開催時間] 隔週月曜日 全8回

プレ開講のため後期のみ：11月～2月

[実施時間] 講義：18:00-19:00 / ゼミ：19:00-20:30

### 後期

第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回

11月7日 (月)	11月21日 (月)	12月5日 (月)	12月19日 (月)	1月16日 (月)	1月30日 (月)	2月13日 (月)	2月27日 (月)
--------------	---------------	--------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------

18:00-19:00 講義

19:00-20:30 ゼミ

# ゼミ長・講師紹介

## エコテックコース

【テーマ】水辺と環境・まちづくり



### ゼミ長

株式会社リバネス 代表取締役 グループCEO 丸 幸弘  
博士（農学）。2002年大学院在学中に理工系大学生・大学院生のみでリバネスを設立。日本初「最先端科学の出前実験教室」をビジネス化。アジア最大級のベンチャーエコシステムの仕掛け人として、世界各地のディープテックを発掘し、地球規模の社会課題の解決に取り組む。株式会社ユーグレナをはじめとする多数のベンチャー企業の立ち上げに携わる。



### 講師

株式会社リバネス 執行役員CBO 松原 尚子  
修士（農学）。研究開発事業からキャリアを開始し、経営戦略、地域開発、人材開発など様々な事業分野を経験し、沖縄事業所の立ち上げ等に携わる。大手企業クライアントを含む新規事業の立ち上げや戦略的運営を担う。

## フードテックコース

【テーマ】新たな食の循環



### ゼミ長

株式会社リバネス代表取締役社長 COO 高橋 修一郎  
博士（生命科学）。設立時からリバネスに参画し、リバネスの研究開発事業の基盤を構築。研究現場に対する圧倒的な課題発掘力を持ち、独自の研究助成「リバネス研究費」や未活用研究アイデアのデータベース「L-RAD」等のビジネスモデルを考案し、産業界・アカデミア・教育界を巻き込んだプロジェクトを数多く仕掛ける。



### 講師

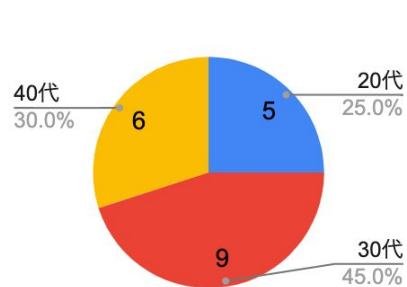
株式会社リバネス 執行役員 塚田 周平  
博士（農学）。大規模植物工場の立ち上げ支援などを行なうと同時に、陸上養殖システム開発、機能性を持つ農林水産物の供給システム開発など、アグリ分野の先進技術開発・導入、地域創業エコシステム構築事業の立ち上げを行う。大手・中堅企業やベンチャー、研究者等との連携による技術開発、事業開発に現場主義でコミットしている。

# 受講生データ（通常クラス）

2021年のエコテックコース（通常クラス）の年齢、所属、肩書の構成は以下となります。

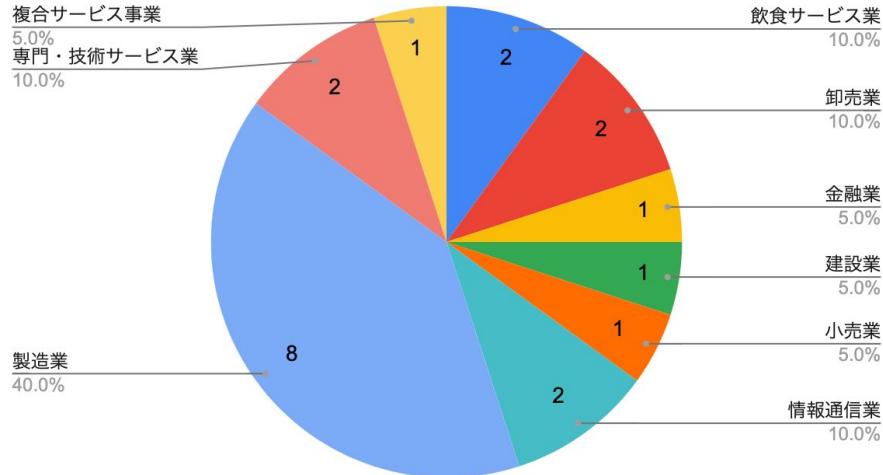
## 年齢構成

30代が多く、次いで40代、20代となります。



## 所属の業種

多様な業種、異分野の人々との協同活動となります。



## 受講生肩書（一部抜粋）

大企業の現場リーダー、ベンチャーの代表、町工場の代表など多様な方々がともに学んでいます。

- 代表取締役
- 部長
- 部長代理
- 係長
- 主任
- マネージャー
- グループリーダー
- リーダー
- 弁護士・弁理士

# JRE Station カレッジ共通カリキュラム

JRE Station カレッジは全6回の講義と全8回のゼミの構成です。第1～6回はサステナブルビジネスを実践するゲストスピーカーを招き、共に議論を交わします。通常クラスは講義とゼミ、オンラインで参加するオンラインクラスは講義のみの参加となります。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	18の考え方を学ぶ							
	サステナブルビジネス	課題の発掘	仮説検証考察	イシューと出会う方法	アセットの明確化	知識の組み合わせ		
18時-19時 講義	課題発掘からはじめるサステナブルビジネスとは	課題ドリブンで思考し、自分のベクトルを可視化する	研究者的思考と個のネットワークでコトを起こす	自らの情熱でみつめるDeep Issue(ディープイシュー)	知識の集積で生まれるDeep Tech(ディープテック)	世界を変えるブリッジコミュニケーションとは		
	個		ネットワークを学ぶ		チームを学ぶ/リーダーを学ぶ		個	
19時-20時30分 ゼミ	お互いを知る 参加者一人一人の背景、興味のベクトルを共有する	個人の課題意識に気づく QPを考える	仲間を集める 共通の社会課題に対して、4~5名のチームを形成する	チームのミッションを掲げる チームでベクトルを合わせ、目的を設計する	事業化する前提で事業計画をつくる チームでビジネスモデルの絵を作る	試行錯誤する 実証実験計画をもとに小さくPoCを回す	人の心を動かす チームの生き残りをかけて、人を感動させるプレゼンに挑戦する	覚悟を決める 講座終了後も継続の意思があるか、継続の方法を宣言する
	自己紹介	QPMIシートの発表	深掘りQPを発表 チームアップ	チームのQPをプレゼン	チームのビジネスモデルをプレゼン	計画書にもとづき発表	PoCの進捗・結果を交換最終発表	個人の覚悟を発表
宿題	自分が思う社会課題を考える (QPMIシート)	フィードバックを元にQPを深掘りする (シート完成)	チームで何をどう解決するのか(テーマ)を考える	ビジネスモデルを考える	1次情報を取得し、実験計画書を策定する	いまできるPoCをすばやく実行する	何を学んだか、どんな覚悟が決まったかを考える	修了後も継続して実施する

# JRE Station カレッジでの学び① 「講義」

JRE Station カレッジでは、全6回、各回1時間の講義が行われます。講義では「サステナブルビジネスへの道 18の考え方」として、毎回3項目をテーマとして取り上げます。また、サステナブルビジネスの構想を実践に移すために個々人に必要な姿勢や行動習慣、もつべき視点について、企業現場での実例を豊富に交えて伝えます。さらに、サステナブルビジネスを取り巻く世界的な経緯や潮流、最先端のテックベンチャーに関する話題など、これまでに国内外2,000以上のスタートアップを支援してきたリバネスならではの講義をお届けします。



## 受講生が得た学び（2021年受講生コメントより）

- ・ 顧客の声を聞く機会は多くあったものの、ベンチャーや研究者など特定の分野に精通する方々の話を聞く機会はあまりありませんでした。そういった話をリアルで聞くと、非常に心に響きます。
- ・ 自分の所属業界は「成熟業界」であり、次の成長に向けた糸口がつかみにくい所があった。講義で学んだ「時間軸」「未来視点」「原点回帰」の視点により、進むべき方向性が見えてきました。
- ・ これまでは自社アセットの明確化ができていなかったと認識しました。「会社としての原点を問う」を起点として、知識戦略を描いていきたいと思えます。



## 受講生の声

「視座が上がり、異業種の人との触れ合いが行動変容につながった」（ロート製薬株式会社 柴田久也さん）

<https://jre-station-college.jp/2022/04/21/shibata/>





# JRE Station カレッジでの学び②「ゼミ」

JRE Station カレッジでは、全8回、各回1.5時間のゼミが行われます。ゼミでは、**個々の情熱や課題意識をコアとしてチームアップ**が行われ、プロジェクトが組成されます。その後、各チームでの事業計画の策定、PoC、成果発表等を通して、**講義で学んだ内容を実践**します。また、サステナブルビジネスを実践する**ゲストスピーカーによる具体的なフィードバック**により、単なる「構想」ではなく「現実の事業」として立ち上げる道筋が見えることが本カレッジの醍醐味です。ここで生まれたプロジェクトに対して、受講期間終了後もカレッジとして支援を継続する助成制度も用意されています。

※ゼミは、現地参加の通常クラス受講生のための参加となります。

## 受講生が得た学び（2021年受講生コメントより）

- ・ 普段の仕事では接する機会がなかった異業種・異分野の方と出会い、充実したコミュニケーションを図ることができています。
- ・ ゼミの活動は難解だが、同時に楽しむこともできている。「脳に汗をかく時間」であると感じています。
- ・ ゲストスピーカーに伺った「『課題解決』の方法論はそれなりに見つけることができる。本当に大事なものは『課題の発見』である」という内容は、ビジネスを構築していく上での本質であると思いました。



2021年のエコテックコースでは、ゼミ活動から4つのプロジェクトが生まれました（詳細は次ページ）。



# ゼミから生まれたプロジェクト

各プロジェクトの詳細はこちら

<https://jre-station-college.jp/2022/02/27/2021prj/>



## TOKYO PEARLプロジェクト

東京湾の海水で育てたアコヤ貝で、水質浄化と真珠生産を目指す

株式会社JR中央線コミュニティデザイン 岡村佳子  
株式会社商船三井 古木聡一  
清水建設株式会社 笠原万澄  
日本ユニシス株式会社 吉越一樹  
東日本旅客鉄道株式会社 上田佑斗  
株式会社イノカ 高倉葉太 (第2回ゲストスピーカー)  
株式会社リバネス 海浦航平 (コミュニケーター)



## 銭湯復活プロジェクト

微生物の発酵作用を活用した新たなサウナで、銭湯コミュニティ復活を目指す

ロート製菓株式会社 柴田久也  
株式会社BIOTA 伊藤光平  
株式会社アオキシントック 青木圭太  
株式会社池田理化 長谷川智幸  
株式会社J R 東日本商事 小林康人  
株式会社リバネス 齊藤想聖 (コミュニケーター)



## 野菜粉末アップサイクルプロジェクト

都市の廃棄野菜を資源化する

株式会社丸井グループ 山中未来  
鈴茂器工株式会社 秋田一徳  
株式会社グッドイートカンパニー 荒井浩樹  
東日本旅客鉄道株式会社 大沼芙実子  
株式会社リバネス 蔵本斉幸 (コミュニケーター)



## サステナブルエビプロジェクト

街の食品と工場の残渣からつくる飼料で、地球にやさしいエビ養殖を実現する

カフェ・カンパニー株式会社 別府大河  
DIC株式会社 中熊大英  
弁護士法人内田鮫島法律事務所 杉尾雄一  
株式会社リバネス 松原尚子 (コミュニケーター)  
株式会社リバネス 滝野翔大 (コミュニケーター)



# 通常クラスに関するQ&A

**Q：通常コースはどこで行われているのでしょうか。**

A：エコテックコースは東京駅八重洲中央口の「STATION DESK 東京 premium」、フードテックコースは新大久保駅直結の「K,D,C,,,」で実施されます。

**Q：宿題はありますか。**

A：前半の講義では講義レポートの提出、後半のゼミでは個人ワーク、チームでの事業計画の策定、進捗プレゼンの作成などが求められます。さらにゼミ長から各チームへのフィードバックとして、個別の課題が課される場合もあります。すでに決定しているゼミの宿題内容については本資料6枚目をご覧ください。

**Q：毎回の通常クラスへの出席以外にも、活動はありますか。**

A：ゼミでのプロジェクト活動の運営は各チームに任されていますが、通常クラス実施時間以外の時間も使って進めているチームがほとんどです。具体的には、チームに課される宿題（事業計画策定、プレゼンの準備等）を行うために、月2-3回のオンラインミーティングや個別の活動を行います。また、コミュニケーションアプリslackを活用して、日常的にコミュニケーションをとっているチームもあります。

**Q：やむなく欠席した場合のフォローはありますか。**

A：期間限定にてアーカイブ動画をご覧くださいませ。講義レポートとゼミの課題を提出いただくことで、出席扱いといたします。

**Q：受講生が急遽参加できなかった場合、例えば別の社員を代理として参加させることはできますか。**

A：できません。個々人の情熱を起点とした活動ですので、代理での参加は認めていません。受講規約にもその旨を定めています。

**Q：欠席した分の回の受講料の返金は可能ですか。**

A：受講お申し込み後の返金はできません。

**Q：受講料はいくらでしょうか。また支払い方法は。**

A：受講料は税込495,000円です。支払い方法は、クレジットカード払いもしくは請求書払いのいずれかからお選びいただけます。

**Q：どのように申し込みれば良いでしょうか？**

A：ウェブサイトの受講お申し込み方法のご案内をご覧ください。お申し込みはJRE MALLにて承ります。

<https://jre-station-college.jp/2022/04/21/jremall/>

# オンラインクラスに関するQ&A

**Q：オンラインクラスにおいて、発言は可能ですか。**

A：オンラインクラス受講生は、視聴のみの参加となります。ご意見・ご質問はレポートにてお寄せいただく形となります。

**Q：どのような配信アプリを使いますか。**

A：株式会社リバネスのプラットフォーム「リバネスID」内にて視聴いただけます。webブラウザからの視聴が可能です。  
なお視聴には「リバネスID」への登録が必要となります。

**Q：宿題はありますか。**

A：はい、あります。講義から何を学んだのか等に関する講義レポートの提出が課されます。レポートも「リバネスID」からの提出となります。

**Q：毎回のオンラインクラスへの出席以外にも、活動はありますか。**

A：特にありません。

**Q：やむなく欠席した場合のフォローはありますか。**

A：期間限定にてアーカイブ動画をご覧くださいます。講義レポートを提出いただくことで、出席扱いいたします。

**Q：欠席した分の回の受講料の返金は可能ですか？**

A：受講お申し込み後の返金はできません。

**Q：受講料はいくらでしょうか？支払い方法は？**

A：受講料は税込99,000円です。オンラインクラスの支払い方法は、クレジットカード払いのみとなっております。

**Q：どのように申し込みれば良いでしょうか？**

A：ウェブサイトの受講お申し込み方法のご案内をご覧ください。お申し込みはJRE MALLにて承ります。

<https://jre-station-college.jp/2022/04/21/jremall/>

<本件に関するお問合せ先>

JRE Station カレッジ運営事務局

担当：上田、田中（東日本旅客鉄道株式会社内）

E-mail：jresc@lnest.jp